

保育室ひかりにおける自己評価

平成30年度分

評価の目安A:よくわかる、できている B:ある程度わかる、ある程度できている C:ほとんどわからない、できない

項目	内 容	評 価		
		A	B	C
保育理念	① 人権に十分配慮すると共に文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。	○		
	② ひとりひとりのありのままの姿を受け入れることができますか。	○		
食育	① 季節感のある食材に触れる機会を設けていますか。		○	
	② 子どもが育てた野菜などを食べることがありますか。		○	
健康支援	① 子どもの日々の健康状態を把握し保育していますか。	○		
	② 子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有していますか。	○		
衛生管理	① 保育室の換気や温度・湿度に配慮して保育していますか。	○		
	② 玩具・遊具については必要に応じて消毒したり衛生面に配慮し、破損の有無を毎日確認していますか。	○		
支援	① 一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか。	○		
	② 子育ての悩みを話し、共感したり支え合ったりする保護者同士のつながりに配慮していますか。	○		
研修計画	① 保育計画が適切であったか振り返りを行い、改善していますか。	○		
	② 園の内外における研修・研究活動に目的を持って積極的に参加したりしていますか。	○		
情報保護	① 個人情報の管理を適切にしていますか。	○		
	② 相談内容など人に聞かれないで相談できるように配慮していますか。	○		
苦情処理	① 地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っていますか。	○		
	② 苦情解決の仕組みを知っていますか。	○		
事故防止	① 施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って行い、不具合の箇所は必要な対策をとっていますか。	○		
	② 子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するように働きかけていますか。	○		
保育内容	① 保育課程や保育計画のねらい・内容を職員や保護者に分かるように伝えることができますか。		○	
	② 好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか。	○		
	③ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆっくりと接していますか。	○		
	④ 外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	○		
	⑤ 子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気付くように援助していますか。	○		

次年度に向けて、評価の低かった項目については改善していき、よりよい保育につなげていきたいと思えます。

そのため、以下について取り組んでまいります。

- ・ 保育課程や保育計画の理解を深めるために、保育所保育指針を職員全体で学びます。
- ・ 毎月のカリキュラムに職員全員が必ず目を通し、子どもの様子を周知して保育を行います。
- ・ すべての子どもが季節の野菜に触れたり、野菜を育てる体験をします。

以上